＜校訓＞敬愛 自主 剛健

未来橋

令和6年2月号
高浜町立高浜中学校

先月下旬に強い寒波の襲来で大雪となりましたが、今年の冬は天気予報によると例年より暖かくなると予想されており、路地の草木は少しずつ春の開花に向けて準備を進めています。

草木の中で、いち早く花を咲かせるのは、「梅」です。そのことから、梅は「百花の魁（さきがけ）」と呼ばれており、ちょうど今頃から少しずつ蕾が膨らんでくるようです。春にきれいな花を咲かせる多くの植物たちは、一年の中で最も寒いこの時期に多くの時間を費やし栄養を充填しています。そして、春の開花に備えています。大きく膨らんだつぼみを見ていると、花がどれくらい大きく咲くかがとても楽しみになります。

【新入生体験入学　生徒会挨拶】

先人の教えに「冬の寒さを経ざれば、春の暖かきを知らず」ということわざがあります。春に美しい花を咲かせる草木と同じように、人間も苦労があるからこそ「楽しさ」や「喜び」を感じることができるという意味です。困難を経験したり、それを克服したりすることを通して、生きることの楽しさや喜びを味わうことができます。そして、その過程を通して強くたくましく成長します。

【新入生体験入学　1年生の活躍】

特に、3年生は進路実現という困難に直面し、その試練に真剣に向き合い、乗り越えていく力が試されています。逃げない決意と立ち向かう覚悟を決めたとき、きっと新しい状況が生まれ、希望への光が見えてくるはずです。とはいえ本番が近付くと不安な気持ちになる人がほとんどです。しかし、こうした不安の中にいるのは自分一人だけではありません。高校受験に臨む多くの受験生は同じ心境の中にあり、同じ思いで本番を迎えようとしています。こんな時だからこそ、これまで学校生活を共にしてきた仲間がいることを思い出してほしいと思います。志望する進路はそれぞれ異なりますが、気持ちではみんなで支え合い、みんなでこの受験という壁を乗り越えてほしいと思います。

1、2年生にとっても3学期はそれぞれの学年のまとめの時期でもあり、また、4月から始まる新たな学年の準備の時期でもあります。そのことから3学期は“0学期”とも呼ばれています。特に1年生は、4月には新入生が入学してきます。先週行われた新入生体験入学での皆さんの活躍はとても素晴らかったです。これからも、中学生らしいきちんとした生活を心がけ、学習、部活動等に一生懸命に励んで力をつけてください。そして、後輩たちに成長した姿を見せてほしいと思っています。また、2年生も4月から高浜中の最上級生となります。後輩のよき模範であり、学校の顔として責任ある行動が求められます。この0学期の間に、高浜中の最上級生としての自覚を培ってください。

このように、3学期はそれぞれの学年でやるべき事が明確です。残すところあと2ヶ月です。一日一日を大切にし、有意義な学校生活を送ってください。

「ふるさとの学び特別賞」（優秀学校賞）受賞

高浜中学校の生徒たちが取り組んでいる企画提案型の探究学習「高浜未来創造プラン」の取組が、令和5年度「ふるさとの学び特別賞」（優秀学校賞）を受賞しました。

これは、福井県教育委員会が「ふるさと教育」の充実を図るために実施している取組で、ふるさと福井の誇りと愛着を育む優れた実践を行っている学校（小学校4校、中学校3校）が表彰されるものです。しかも、今回の受賞は、昨年度に引き続き、2年連続の受賞となります。

【　ふるさと教育フェスタ　　表彰式　】

本校は、地域の教育資源を有効活用した特色ある教育課程を編成し、地域の方々の力強いサポートを受けながら、主体的、協働的なふるさと学習に取り組んでいます。本年度も砕導山城跡PRやインスタ映えスポット、薬草やハーブ、杜仲、内浦レモン、いちご、トマトなどを使った商品開発、高浜町をPRするCMづくり、プレゼンテーション大会、プログラミングコンテスト、安心安全なまちづくり、国際交流、高浜七年祭、「和田de灯音祭」、古着の活用、アップサイクル、廃棄野菜の活用、漁業活性化、公園の利用、食品ロス、フードドライブ、ブルーカーボン問題、買い物難民問題、子育て支援、（海洋）ゴミ問題、空き家問題、人口減少問題、町の活性化など地域のSOSや多様な社会問題から、生徒が「問い」を立て、町行政の方々をはじめ、地域の専門家や高浜町のために活躍しておられる方々、若狭高校や舞鶴高専の生徒や先生方等にサポートをしていただきながら、主体的に探究学習を進めてきました。新聞やTV、教育雑誌などでもその取組が一部紹介されておりますが、今回の受賞はそういった生徒の多様な活動が評価されたものです。今回、表彰対象となったのは、全校246人（探究チーム全41チーム）の生徒たちの実践です。

2月3日に福井市地域交流プラザAOSSAで開催された「福井ふるさと教育フェスタ」の中で表彰式が行われ、本校の生徒会長が生徒代表として福井県知事から「越前焼」と「輝杉」で作られた表彰盾を受け取りました。

表彰会場の福井市地域交流プラザAOSSAの8階フロアーには、高浜中学校の生徒たちが取り組んだ「起案書」をはじめ、新聞記事や2次元コードによる活動展示、ポスター展示など、各活動の様子が紹介されていました。

【高浜未来創造プランの取組内容の展示】

高浜中学校では、今後も「地域と共にある学校」を目指し、この探究学習「高浜未来創造プラン」をより深化させた形で継続し、ふるさと高浜を愛し、誇りをもつ生徒を育てていきたいと考えております。生徒たちの探究学習に力強くサポートしていただいた地域の方々に心から感謝申し上げます。

紙芝居「みんなで学ぶ戦中・戦後のくらし」（高浜町連合遺族会次世代の会）

２月２日、３年生の生徒たちは、「戦中・戦後のくらし」と題し、「高浜町連合遺族会次世代の会」の浅田さん、山本さん、小幡さんによる紙芝居を見せていただきました。

この紙芝居は、二度と戦争を繰り返さないという思いを込めて、戦中から終戦直後の生活の様子や子どもたちの遊びなどを今の若者に知ってもらうために制作されたものです。戦争を体験した世代が高齢化する中、戦争の悲惨さ、平和の尊さをリアルに表現された紙芝居を見ることはとても貴重な経験です。

紙芝居の後、浅田さんからは、終戦直後の生活の様子や地区ごとにある忠魂碑、次世代の会で活動する熱い思いや願いを教えていただきました。そして、山本さんからは、戦争を体験された９７歳になられるお母さまのお話を聞かせていただきました。召集令状・学徒出陣・B29による空襲、防空壕、シベリア出兵などについてわかりやすくお話をしていただき、戦争の悲惨さや残された遺族の悲しみなどについて、生徒たちは理解を深めることができました。

３年生の生徒たちは、「今日お聞きしたことを次の世代にも知らせていきたい。」という感想を述べるなど、戦争を風化させず、絶対にくり返してはいけないという意識を強く持つことができた貴重な時間となりました。

「高浜の魅力をラジオで発信」京都・FMまいづるの番組収録

探究学習「高浜未来創造プラン」で、「高浜町の伝統文化を知ってもらうためのイベント企画」「高浜町の杜仲茶をPRする」をテーマに高浜の魅力発信に取り組む2年生チームが、京都市と舞鶴市で放送しているFMラジオの情報番組「若狭高浜BLUE BEACH RADIO」の収録をしました。このラジオ番組は、高浜町とFMまいづる（舞鶴市）の共同で制作されている番組で、生徒たちは、この番組でナビゲーターを務める町産業振興課の中村広花さんの進行のもと、高浜町の魅力を町外の人にPRするために探究学習で取り組んできた内容を報告しました。

「高浜町の伝統文化」をテーマに取り組む生徒たちは、墨流しや組子細工などの優れた高浜町の伝統文化を紹介しました。そして、高浜町出身の僧で欧米に「禅」を伝えたとされる釈宗演のゆかりの地を巡るクイズやイベントを来春開催することをPRしました。また、「杜仲茶」をテーマに取り組んでいる生徒たちは、町特産の杜仲茶を材料にしたゼリー、わらびもち、パンケーキの商品開発に取り組み、そのレシピ集をスーパーなどに置いて紹介していくことを報告しました。

今回収録した番組は、2月2日から3月30日の毎週金・土に放送される予定です。京都市や舞鶴市にお出かけの際に、是非お聴きください。

プレゼンテーションはしゃべるのではなく、演じることである

1月12日に、3年生の探究学習（全13グループ）の学年発表会を行いました。今年度、高浜中学校では、探究学習において『伝える力の育成』を目標の一つに掲げています。3年生は、砕導山城跡PR動画作成や公民館講座の実施、灯音祭やアップサイクルなどのイベントの開催など積極的に自分たちの活動内容を広く発信する取組を行ってきました。また、先だって行われた「福井県ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」や「プログラミングコンテスト」においても、優秀な成績を収めるなど、生徒たちの成長と活躍が光ります。

3年生のプレゼンテーションは、写真やグラフ、音楽などを多用して視覚に訴えるものが多く、発表も自分の言葉で聴衆にしっかりと語りかけるなど、随所に表現の工夫が見られました。発表報告会の最後に福井県プレゼンテーション大会の受賞チームが、これまでの学習で学んだことの一つとして次の言葉を発してくれました。

「プレゼンテーションはしゃべることではない。演じることである。」

この言葉で思い出されるのは、2020年の東京五輪招致成功の大きな原動力となったとされる最終プレゼンテーションです。そのシナリオは緻密に設計され、周到な振り付けが施されていました。登壇者は、力強い口調、大きなジェスチャー、豊かな表情など相手（IOC委員）を意識したリハーサルを何度も行い、その「役」を“日本人離れした技”で演じ切りました。印象に残るプレゼンテーション、伝える力のある魅力的なプレゼンテーションとは、このようなプレゼンテーションをいうのでしょう。

今後、1年生と2年生の「高浜未来創造プラン」の報告発表会を実施します。素晴らしい3年生に「追いつけ、追い越せ！」で頑張ってほしいと思います。

還暦、初老を迎えられた方々より寄贈品をいただきました

移動式大型モニター

掲示用大型モニター

本年度、還暦を迎えられた高浜辰巳海、そして、初老を迎えられた高浜亥子会・和田亥子会・青郷五八亥子会の皆様から、学校の教育活動に用いる備品を寄贈していただきました。

そして、「私たちは、高浜中学校で学んだ3ヶ年で学びの基礎を培うことができました。今、私たちがこのような年を迎えて、仲間と分かち合える喜びを母校にもお裾分けしたい。後輩である高浜中学校の子どもたちのために使って下さい。」と有り難い言葉もいただきました。

先輩方の母校を愛する心と後輩を励まし支えていきたいという温かい思いやりの気持ちに心から感謝申し上げます。学校行事や探究学習、教科学習などに有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。